［略］	［略］	［同上］
	十四　航空団、航空警戒管制団、輸送航空隊、飛行教育団、航空教育隊及び飛行開発実験団	［略］
	［略］	［同上］
	十四　航空団、航空警戒管制団、航空警戒管制団、輸送航空隊、飛行教育団、航空教育隊及び飛行開発実験団	［同上］
	［同上］	［同上］

備考　表中の［　］の記載は注記である。

附　則

この省令は、平成二十九年七月一日から施行する。

告　示

○国家公安委員会告示第三十二号

次の公告国際テロリストについて、公告された事項に変更があったので、国際連合安全保障理事会決議第千二百六十七号等を踏まえ我が国が実施する国際テロリストの財産の凍結等に関する特別措置法（平成二十六年法律第百二十四号）第三条第二項の規定に基づき、次のとおり告示する。

平成二十九年六月二十三日　　国家公安委員会委員長　松本　　純

名簿記載者公告番号　ＱＥ－61（レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線（AL-NUSRAH FRONT FOR THE PEOPLE OF THE LEVANT））

1　変更前

別名　(a)ザ・ビクトリー戦線（the Victory Front）　(b)ジャブハット・アル・ヌスラ（Jabhat al-Nusrah）　(c)ジャブヘット・アル・ヌスラ（Jabhet al-Nusra）　(d)アル・ヌスラ戦線（Al-Nusrah Front）　(e)アル・ヌスラ戦線（Al-Nusra Front）　(f)下部部隊英語名：アンサル・アル・ムジャヒディン・ネットワーク（sub-unit name： Ansar al-Mujahideen Network）　(g)下部部隊英語名：ジハードの戦場におけるレバントのムジャヒディン（sub-unit name： Levantine Mujahideen on the Battlefields of Jihad）

所在地　(a)シリアにて活動中　(b)イラクに支援ネットワークあり

名簿に記載された年月日　2014年５月14日

その他参考となるべき事項　少なくとも2012年１月からアル・カーイダ（ＱＥ－１）とイラクのアル・カーイダ（ＱＥ－48）の指導者である，イブラヒーム・アッワード・イブラヒーム・アリー・アル・バドリー・アル・サマッライ（ＱＩ－173）と連携している。アル・カイーダの外国人工作員と共に，シリアの地元の分隊に加わり，テロ活動やゲリラ活動を行うために，シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ及びアスバト・アルアンサル（ＱＥ－７）の戦闘員を引き寄せている。2013年５月30日から2014年５月13日までは，イラクのアル・カーイダの別名として掲載されていた。

2　変更後

別名　(a)ザ・ビクトリー戦線（the Victory Front）　(b)ジャブハット・アル・ヌスラ（Jabhat al-Nusrah）　(c)ジャブヘット・アル・ヌスラ（Jabhet al-Nusra）　(d)アル・ヌスラ戦線（Al-Nusrah Front）　(e)アル・ヌスラ戦線（Al-Nusra Front）　(f)ジャブハット・ファタフ・アル・シャム（Jabhat Fath al Sham）　(g)ジャブハット・ファタフ・アル・シャム（Jabhat Fath al-Sham）　(h)ジャブハット・ファタハ・アル・シャム（Jabhat Fatah al-Sham）　(i)ジャブハット・ファテフ・アル・シャム（Jabhat Fateh Al-Sham）　(j)ファタハ・アル・シャム戦線（Fatah al-Sham Front）　(k)ファテフ・アル・シャム戦線（Fateh al-Sham Front）　(l)レバント征服戦線（Conquest of the Levant Front）　(m)アル・シャム解放戦線（The Front for the Liberation of al Sham）　(n)シリア／レバント征服戦線（Front for the Conquest of Syria／the Levant）　(o)レバント解放戦線（Front for the Liberation of the Levant）　(p)シリア征服戦線（Front for the Conquest of Syria）　(q)アンサル・アル・ムジャヒディン・ネットワーク－下部部隊英語名（Ansar al-Mujahideen Network-sub-unit name）　(r)ジハードの戦場におけるレバントのムジャヒディン－下部部隊英語名（Levantine Mujahideen on the Battlefields of Jihad-sub-unit name）

所在地　(a)シリア・アラブ共和国（活動地）　(b)イラク（支援ネットワークあり）

名簿に記載された年月日　2014年５月14日（2017年６月７日に改訂）

その他参考となるべき事項　アル・カーイダ（ＱＥ－１）と連携している。アル・カーイダの外国人工作員と共に、シリア・アラブ共和国の地元の分隊に加わり、テロ活動やゲリラ活動を行うために、シリア人や外国のイラクのアル・カーイダ（ＱＥ－48）及びアスバト・アルアンサル（ＱＥ－７）の戦闘員を引き寄せた。イラクのアル・カーイダ（ＱＥ－48）として掲載のイラク・レバントのイスラム国、及びその指導者である、イブラヒーム・アッワード・イブラヒーム・アリー・アル・バドリー・アル・サマッライ（ＱＩ－173）と連携していたが、2013年に連携を解消した。2016年７月には、レバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線（ＱＥ－61）の指導者である、アブ・モハンメド・アル・ジャウラニ（ＱＩ－190）は、同団体がその名称をジャブハット・ファタフ・アル・シャムに変更し、もはやいかなる外部団体とも関係していないと表明した。当該表明及び同団体が自らをレバントの人々のためのアル・ヌスラ戦線から区別しようと試みているにもかかわらず、依然としてアル・カーイダと連携しており、この新たな団体名のもとでテロ活動の実行を継続している。2013年５月30日から2014年５月13日までは、イラクのアル・カーイダ（ＱＥ－48）の別名として掲載されていた。